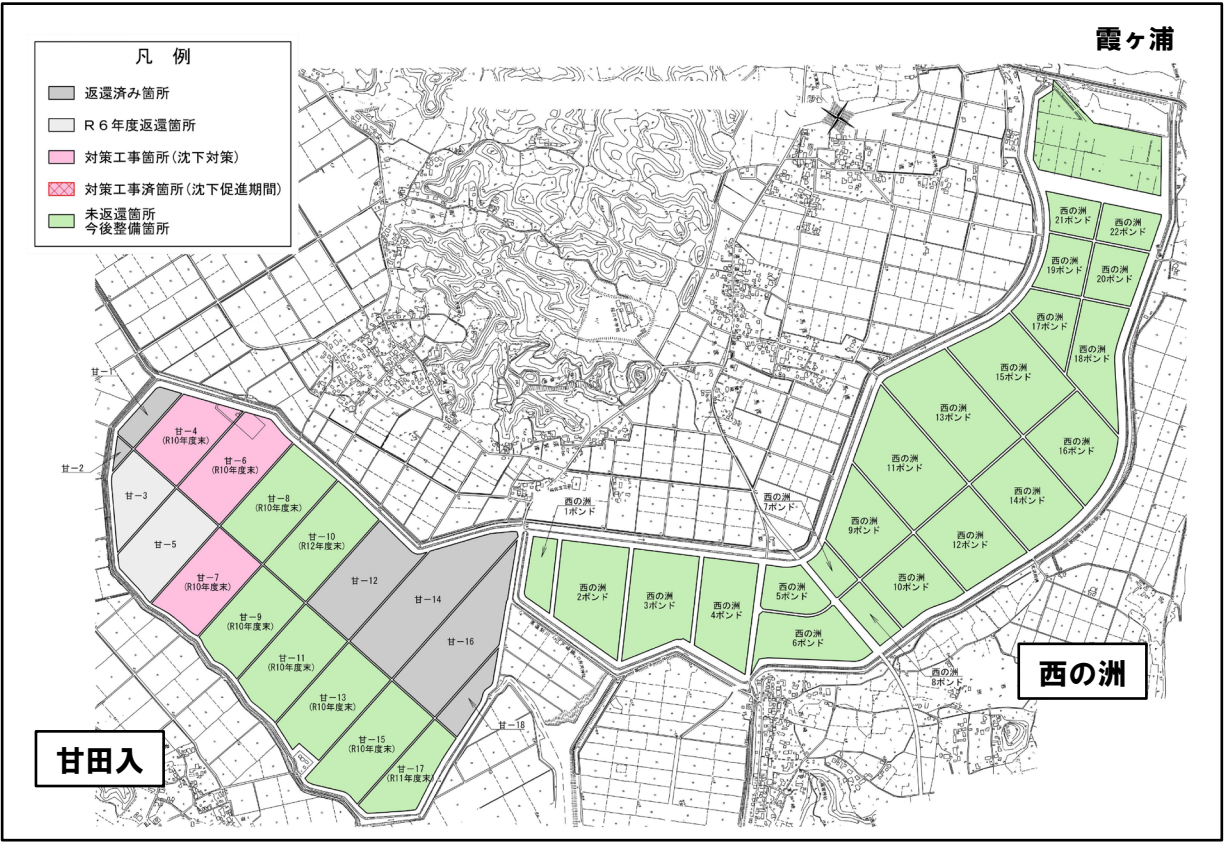


- ・霞ヶ浦の湖底は、水質の悪化に伴って富栄養化した底泥が堆積し、その底泥に含まれる窒素やリンが湖水への溶出・沈降を繰り返しています。そこで、湖内の水質浄化対策の一つとして、富栄養化した底泥を取り除き、溶出量を減ずることを目的として浚渫を実施しており、これまで約800万m3の浚渫が完了しています。
- ・浚渫土は茨城県が実施するほ場整備事業等との役割分担の下、浚渫土埋立地として農地かさ上げに有効活用しています。
- ・現在、浚渫土埋立地(西の洲・甘田入地区)の返還に向けた整備を実施しており、整備が完了した箇所から順次返還を進めています。

地区		R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
甘田入地区 沈下対策・盛土整理	計画											
	実施											
西の洲地区 沈下対策・盛土整理	計画											
	実施											



※各ヤードの下の年度は返還予定の時期を示す

参考 霞ヶ浦浚渫の流れ【浚渫土埋立からほ場整備まで】

